

第4回常任理事会会議録

日時 平成20年7月14日(月) 午前11時～午後0時15分
場所 日本歯科医師会 801・802会議室
出席者 <会長> 江藤一洋
<副会長> 黒崎紀正、井出吉信
<総務理事> 住友雅人
<常任理事> 高津茂樹、川添堯彬、佐藤田鶴子、平井敏博、
土屋友幸、江里口 彰、恵比須繁之、宮崎 隆、
栗原英見、荒木孝二
第21回日本歯科医学会総会
<準備委員長> 伊藤公一
日本歯科総合研究機構
<研究部長> 石井拓男
欠席者 <常任理事> 高木忠雄、後藤滋巳

[議長 江藤会長]

1. 開 会

黒崎副会長から、開会の宣言がなされた。

2. 挨拶

江藤会長から、挨拶がなされた。

3. 報 告

1) 一般会務報告

住友総務理事より、次の資料に基づき、一般会務報告がなされた。

一般会務報告(平成20年6月16日～平成20年7月13日)

第3回常任理事会会議録(平成20年6月16日開催)

2) 第21回日本歯科医学会総会準備状況報告

伊藤準備委員長から、次の資料に基づき、準備状況報告がなされた。

総会関係報告(平成20年6月16日～平成20年7月13日)

3) 会計現況報告

住友総務理事から、次の資料に基づき、会計現況報告がなされた。

□学会会計収支計算書（平成20年4月1日～平成20年6月30日）

□第21回日本歯科医学会学術大会会計収支計算書

（平成20年4月1日～平成20年6月30日）

4) 重点計画の推進

(1) 歯科医療への学術的根拠の提供体制の構築

▶インプラント義歯の指針策定 WG

▶顎関節症の補綴学的治療の指針策定 WG

黒崎副会長より、先進医療技術に関する検討会に設置された標記WGについて、委員名簿に基づき報告がなされ、両WGは第1回会議を開催し、指針策定に向けた具体的作業を開始した旨補足説明がなされた。

▶歯科診療ガイドラインのあり方について

江藤会長より、「歯科診療所における歯科保健医療の標準化のあり方等に関する検討会」がとりまとめた標記報告書について、資料に基づき報告がなされた。

(2) 歯科医療技術革新の推進

江藤会長より、本年改訂される「新医療機器・医療技術産業ビジョン」内に、①オーダーメイド歯科医療（唾液解析によるう蝕・歯周病原菌の検査）、②体内植え込み型機器（人工歯根）、③再生医療（歯根膜シート）、④在宅歯科医療（ポータブル歯科医療機器の開発）、⑤予防としての8020運動の更なる促進等が新たに盛り込まれる予定である旨報告がなされた。

また、「歯科医療機器の開発・改良における承認・認可」に係る日本歯科理工学会からの答申書について、関係分科会に対しパブリックコメントの形式で意見を求めている現状を報告した。

(3) 学会機構改革の推進

特になし。

(4) 専門医制度の確立

江藤会長より、専門医制度のあり方について、医療従事者、行政、国民代表等を交えた懇談会を開催していきたい旨説明がなされた。

(5) 国際交流の推進

▶第96回FDI年次世界歯科大会総会において審議予定のFDI政策声明案に対する各専門分科会からの意見について

住友総務理事より、標記声明案に対する専門分科会からの意見について資料に基づき報告後、これをもって日歯へ回答する旨併せて説明がなされた。

江里口常任理事より、同意見の取り扱いを含め、FDI政策声明案に対する日歯の対応については、日歯国際渉外委員会内で検討していく旨報告がなされた。

5) 学術講演会について

土屋常任理事より、各地区歯科医師会から本年度の学術講演会を在宅歯科医療施設基準算定における認定研修会として取り扱われたいとの要望があった旨報告がなされた。

要望に対する本学会の対応について、修了証及び事後抄録内に一定の文言を挿入するとの結論に至った学術講演委員会内での協議結果を踏まえ協議した結果、全会承認された。

なお、同施設基準算定に関する診療報酬上の取り扱いについては、各都道府県内当局の判断による旨補足説明がなされた。

6) ミャンマーサイクロン、中国大地震災害義援金について

住友総務理事より、第2回常任理事会の決定に基づき募った標記義援金の取り扱いについて説明がなされた。

7) 歯科治療時の全身的偶発症アンケート調査の協力依頼について

住友総務理事より、日本歯科麻酔学会から協力依頼のあった標記アンケート調査への対応について、日歯に対し既に、同アンケートへの協力要請を行っている旨資料に基づき報告がなされた。

8) 平成20年度(第30回)沖縄研究奨励賞推薦応募について

住友総務理事より、標記について、各分科会に情報を提供した旨報告がなされた。

9) 「朝日賞」候補者の推薦について

住友総務理事より、標記について、各分科会に情報を提供した旨報告がなされた。

10) 会長報告

江藤会長より、第2回日歯理事会における報告事項及び協議事項について、資料に基づき報告がなされた。

11) その他

江藤会長より、日本歯科医学教育学会に対し、アジア歯科医学教育学会の日本側代表者選出の申し入れを行った旨報告がなされた。

4. 協 議

1) 重点計画の推進

(1) 歯科医療への学術的根拠の提供体制の構築

江藤会長より、歯科医療未来構想会議の発足について、資料に基づき諮られ、協議の結果、承認された。

(2) 歯科医療技術革新の推進

特になし。

(3) 学会機構改革の推進

▶日本老年歯科医学会への諮問について

井出副会長より、歯科大学・歯学部における在宅歯科医療と摂食嚥下リハビリテーションのカリキュラム作成について、資料に基づき諮られた。

協議の結果、日本老年歯科医学会に対し原案の作成を諮問し、これを基に学際領域問題検討委員会で検討した上で、関係分科会に対しパブリックコメントの形式で意見を求めていくこととした。

(4) 専門医制度の確立

特になし。

(5) 国際交流の推進

特になし。

2) 事業計画の推進

(1) 平成 19 年度学会会計収支決算

住友総務理事より、標記について資料に基づき諮られ、第 2 回理事会で引き続き協議した上で、第 80 回評議員会に議案として上程することとした。

(2) 平成 19 年度第 21 回日本歯科医学会学術大会会計収支決算

住友総務理事より、標記について資料に基づき諮られ、第 2 回理事会で引き続き協議した上で、第 80 回評議員会に議案として上程することとした。

(3) 日本歯科医学会規則の一部改正について

住友総務理事より、標記規則の改正について資料に基づき諮られ、改正後の条文案等を確認するとともに、第 2 回理事会で引き続き協議した上で、第 80 回評議員会に議案として上程することとした。

(4) 日本歯科医学会選挙規程の制定

住友総務理事より、現在、学会独自の選挙規程が定められておらず、日本歯科医師会の関係諸規則を準用する旨規定されていることを説明がなされた。

さらに、日本歯科医師会が過年度実施した選挙規則改正において、新たな有権者として選挙人が加えられたが、この制度は本学会組織にはそぐわないため、第 80 回評議員会に、本学会独自の選挙規程の制定に関する議案を上程したいとして諮られ、協議の結果、承認された。

なお、土屋常任理事より、同規程の施行日について確認があり、協議の結果、原案通り条文内に施行日を明記した上で、これを含めて上程することとした。

(5) 日本歯科医学会評議員選出基準の一部改正

住友総務理事より、標記について資料に基づき諮られ、第 2 回理事会で協議した上で、第 80 回評議員会に議案として上程することとした。

(6) 日本歯科医学会会長賞授賞基準の一部改正

住友総務理事より、標記基準の一部改正について、資料に基づき諮られ、第 2 回理事会で協議した上で、第 80 回評議員会に議案として上程することとした。

(7) 日本歯科医学会専門分科会承認基準の一部改正について

住友総務理事より、標記基準の一部改正について、資料に基づき諮られ、第2回理事会で協議した上で、第80回評議員会に議案として上程することとした。

(8) 第80回評議員会の運営について

住友総務理事より、標記について諮られ、原案どおりの日程で開催する旨承認された。

(9) 役員派遣に係わる内規について

住友総務理事より、標記内規について、役員派遣の対象として新たに認定分科会主催の行事を加える旨諮られ、協議の結果、承認された。

(10) 日本歯科医学会慶弔見舞金等基準について

住友総務理事より、標記基準について、資料に基づき諮られ、原案どおり承認された。

(11) 後援名義貸与について

住友総務理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、原案どおり承認された。

(12) 役員派遣について

住友総務理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、原案通り承認された。

3) その他

次回、第5回常任理事会を9月19日(金)午後3時より開催することを確認した。

5. 閉 会

井出副会長から、閉会の辞が述べられた。